



パール通信

*** 2009年 1月号 ***

January 24, 2009

 Moorea Pearl Resort & Spa

* モーレア・パール・リゾート&スパ*
日本人ゲストリレーション：比嘉(ひが)歩美



水曜日のソワレのトリロジ3種をご紹介します

ホテルでは水曜日と土曜日にポリネシアンダンスショーがあります。
ハイシーズンには水曜日、土曜日のどちらもディナーはビュッフェになりますが、お客様の少ないローシーズンは水曜日のビュッフェがない代わりに、アラカルトメニューの中に“トリロジ3種”を3200cfpでご用意しております。
これはポリネシアの料理を3種類少しずつ味見していただけるプレートです。
内容は“プレ ファファ”、“ポリネシアンベジタブル”、“バナナの葉で包んだマヒマヒ”です。
水曜日のダンスグループは女性だけのグループ。
やわらかい、とても優しいダンスを披露してくれます。
ショーの魅力は毎週変わるテーマに沿って、女性の美しさを表現するものです。
先週のショーではパレオをテーマとしたもので、たくさんの色のパレオを使った美しいダンスショーでした。
水曜日にご滞在のお客様には是非お薦めのソワレです。
※ 土曜日のビュッフェはシーフードです。

ボラボラ島より絶対モーレア島の方が好き！

モーレア島に来てから早一年。モーレアはいいところだなあとつくづく感じます。日本ではボラボラ島のイメージがタヒチ全体のイメージとして捉えられているところが多く、モーレア島の魅力が日本の皆様に伝わりにくいところがとっても残念です。ボラボラ島にも3年程いた私。ボラボラと比較しながらモーレアの長所を改めて見直してみました。まず、モーレアには緑が多く、山の中を探索して楽しむことができるところが、ボラボラにはない長所だと思います。ボラボラでジープサファリをしたことがあります、上からの見晴らしは素敵でしたが、モーレアに比べると感動が少なく思います。また、大きなホテルが少なく、まだ観光地という感覚があまりないことも長所だと思います。ボラボラ島はモーレア島より小さいのに大きなホテルが16以上もあります。また、モーレアはタヒチから近く、交通の便がよいこともメリットです。ボートで30分程です。タヒチからボラボラまで行くとすると飛行機で45分かかりますし、もちろん交通費も高いです。モーレアには山、海のアクティビティがたくさんあり、飽きることがありません。車をレンタルして島を一周してもベルベデールやパイナップルジュース工場、素敵なビーチ、農業学校、ミニショッピング、ティアレ・バニラエキスの工場など、見所がたくさんあります。物価もボラボラに比べてあまり高くはないところもいいですね。スーパーマーケットや真珠ブティック、ホテルなどもやっぱりモーレアの方が安い、と感じます。ラグーンはどうかというと、ラグーンもモーレアは、ボラボラと全く変わらず透き通っていて綺麗です。お魚がたくさんいるので、スノーケリングはモーレアの方が楽しめるのではないかと思います。

今年も少しずつモーレア島の魅力をお伝えしていきたいと思います。皆様にとって、さらにもっと素晴らしい年となりますように。どうぞよろしくお願ひいたします。



* マニヒ・パール・ビーチ・リゾート & スパ *
日本人ゲストリレーション : ホカフウ さつき



2009 年度もよろしくお願ひいたします。

さて、今月はおお客様によくご質問される、当ホテルにお越しいただくゲストの国籍について書いてみようと思います。

タヒチはフランス領ですから、やはりフランス人ゲスト(フランス在住)が最も多いのではと、ほとんどの方は思われています。しかし、年間通して最も多いのはイタリア人ゲストなのです。7、8月のバカンス時はイタリア人で埋まります。フランス領なのにホテルではイタリア語が飛び交います。イタリア人ゲストはとっても陽気で元気いっぱい。出会った直後からすぐにお友達になり、いつの間にかレストランにはイタリア人グループの大きなテーブルが出来ます。スポーツも大好きで、夕方になると、皆で一緒にバレーボールに熱中しています。

私がマニヒに来た直後のイタリア人ゲストは、イタリア語のみしか通じず、2週間近くのロングステイ中プールサイドでのんびりしている方達がほとんどでしたが、最近は英語かフランス語が通じる方も多く、1週間以内のご滞在中色々なアクティビティに参加し、ACTIVEな方達が増えています。

次に多いのはやはりフランス人ゲストですね。イタリア人ゲストには負けますが、年間通して常にご滞在されています。 去年はスイス人ゲストも多かったです。

英語圏 オーストラリア アメリカ カナダ イギリスのお客様もいらっしゃいます。 去年はカナダ人でも Quebecois(ケベック地方の人々)のゲストが多くて、ケベック滞在中の私は彼らの独特のアクセントのある仏語が聞きながら昔を懐かしく思い出しました。

毎年年末はまとまった数のアメリカ人ゲストがご滞在されますが、去年は少なかったです。

最近増えてきているのがブラジル人ゲストです。特に定年を迎えられたご年配カップルが多いです。このご年配のブラジル人ゲストは仏語をお話される方が多いのには感心します。

数年前はチリ アルゼンチン ベネズエラ メキシコ等の南米のスペイン語圏の国のゲストも結構いらして、スペイン語の必要性を感じました。

他にはスイス ドイツ 北欧 ロシア 東欧 オランダ ベルギーのお客様もいらっしゃいます。もちろん 日本のお客様もいらっしゃいます。 昨年末は多くの日本のお客様がご滞在されました。 意外な事にまだ 一度もお迎えしていないのが中国在住の中国人ゲストです。 このようにマニヒのお客様はとっても国際色豊かです。 皆様のお越しをお待ち申し上げます。

